

単

組

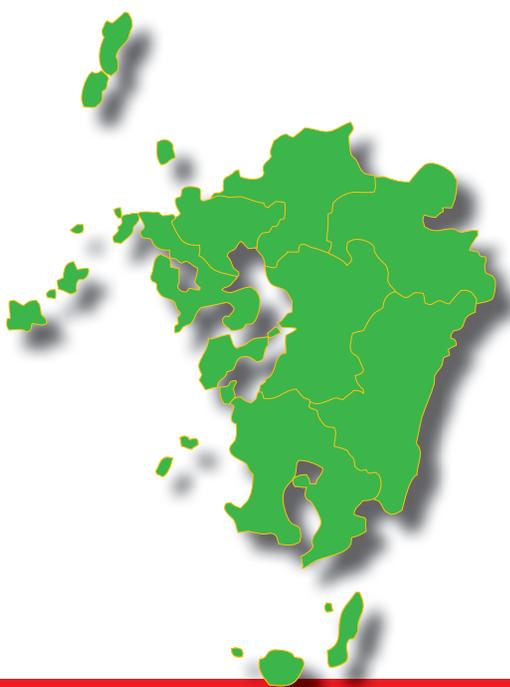
リレー

訪

問

2

九州



九州電設資材卸業協同組合

力強い団結が、統合を生む

私たちが統合化を選んだのは



全日電材連九州ブロック常任理事・忍田勉様

九州地区の業界全体が発展するためです

九州一単組への道程

〈九州電設資材卸業協同組合の概要〉

九州ブロックは、各県ごとの協同組合がそれぞれ活発に活動してきたという歴史があります。全日本電設資材卸業協同組合連合会（JEDA）が発足する三年前の昭和55年には長崎県電設資材卸業協同組合が法人化。ついで福岡、北九州、佐賀、大分、鹿児島：というように続々と法人化を進めました。昭和61年には九州電設資材卸業組合連合会が任意団体として発足し、九州全体のネットワークを強固にしていきました。

しかし、昭和から平成に時代が大きく変わり、電設資材卸業も変化を求められるようになりました。激しく変わる時代の波を乗り越えるため、九州ブロックは一本化の道が希求されるようになります。新たな枠組みの中でより強固な連携とコミュニケーションを図るため、前述の任意団体を一歩押し進め、九州ブロックの単組を統合し、九州単組として

生まれ変わりました。平成24年のことでした。

全日電材連九州ブロック常任理事・忍田勉様にお話を伺いました。

そもそも、どうして一本化を図られたのでしょうか？

ひとことと言うと、九州ブロックの各単組は昔から仲が良いのです。だったら一緒になって九州という市場を盛り上げていこう、ということでは話がまとまったのです。これでは答えになっていませんかね？（笑）

もう少し詳しく…（笑）。福岡と鹿児島では商風が違うと思いますが、一本化できるものですか？

確かに支部により、商風もやり方も違います。ただ九州は地理的に本州とは切り離されています。そのためでしょうか、福岡も鹿児島も、九州という「島」に対する愛着は特別

のものがありません。九州人という意識と言えば良いでしょうか。

しかも、九州は産業も盛んで、電材・電設業界としても大きな市場です。そこに域外の工事会社が入ってくるのは仕方ないことですが、そのまま黙視することは業界が衰退することを意味します。業界あつての私たちのビジネスですから、なんとか九州の業界を守りたいのです。そのためにも、県単組ごとでいくらか頑張っても限界があります。福岡がどうのこのの、熊本がどうのこののではないのです。単組で通らないことでも、九州全体で考えて、我々が団結して物申せば通るといえるものです。一社で守るのではなくて、みんなを守るべきです。そのためには、九州全体で意見統一する仕組みが必要だと考えました。それなら、統合化を図ろう、ということになったのです。

それは単組会で決まったのでしょうか？

ご存じのように、この地区には沖縄も含めて九単組があり、ひとつの括りとしてブロックが形成されました。一本化の話は、年に2回くらい開催されていたブロック会議の中で、自然に出てきたのです。

単組の統合で水平な連携は図れるようになりました。一方、垂直の連携、いわゆる製販工の連携はどのようにお考えですか？

まずは、工と販がしっかりスクラムを組むことが重要だと考えています。その上でメーカーには研修会などの協力を要請しつつ、こちらからの提案で、より良い商品を提供していただきたいと考えています。そのためにも、組合全体でまとまって提案することが大切ではないでしょうか。とは言っても、メーカー様、商社様を合わせて62社。それぞれの出先は支部で加入していますから、それを合わせると262という会員数



九州電設資材卸業共同組合 設立披露会

にのぼります。

**九州ブロックの今の状況を
教えてください。**

九州という太陽光発電システムに適した土地柄もありますから、ビジネス状況は良いと言えるでしょう。ただ問題は、電気工士が不足気味なことです。となると工賃が上がります、見積全体が上がります。これは九州だけの問題ではなく、復興事業を抱える東北もそうですし、これから東京オリンピックが控えていますので、さらに電気工士の不足に拍車がかかると思います。

電気工士が不足している一番大きな問題は、業界として人材を育成してこなかったことにあります。今年は団塊の世代の中心年代が65歳の退職年齢に達します。ベテランはいなくなり、若手は育っていない。我々卸業の立場から、どうすれば支援できるかわからないのですが、難しい課題です。それでも他の地域と比べても九州地区は実質的に伸張していますから、九州の底力はすごいなあと思っています。

もうひとつ、アベノミクス効果でしようか、設備投資はかなり伸びています。これまでストップしてきたところが動き出したのでしょうか。太陽光が終わっても、設備関連でカバーしていきたいと考えています。

**組合員の意識改革を進行中との
ことですが、具体的には
何をされていますか？**

まず、組合員さんに組合の認識を高めてもらうことです。組合員さんには、組合活動に参加していただきたいですし、理事長も今後は持ち回りにしたいです。支部の大小は関係なく、参加しやすい役割を作っていきますよ。

また、事業としては組合員さんも従業員さんを含めたスキルアップやレベルアップを図っていきます。例えば、いま、全日電材連が推奨している経営研修会と技術研修会を積極的にやろうと、理事会が提案し、実際に開催しています。

電気工士は技術があるから、次々出てくる新商品に対応できています。卸業は売るだけだからと対応



経営研修と技術研修は各支部長がテーマを決めて、地元のコンサルタントや金融関係者、また身近な経営者に来ていただいて研修会を開催しています。
総会は5月です。組合員全員が対

経営研修はどのようなもの
されているのでしょうか？

しないわけにはいきません。勉強しないと卸業は頼りないということになってしまいます。それは決して許されることではありません。

象ですから50社が参加します。さらに、各支部持ち回りで組合研修会を毎年11月に開催しています。第2回の去年は長崎で、今年は宮崎で開催します。その際は、地元の勉強をしようと言っています。たいてい郷土研究家の人がおられるので、お話を伺います。長崎では「外国人交流地からみた幕末維新の舞台裏」という話でした。難しい話でしたが、好評でしたね。それを新たに作った会報「Qwave」に掲載しています。(写真参照)



九州電材組合だより「Qwave」

結局、九州は仲が良いですね。

ブロックの時も、一緒になって遊ぶときは遊ぶ。言いたいことがあれば言い合います。喧嘩もしましたが、根に持たない。それが九州人の良さです。



第2回研修会の模様

大集合!!

自 慢 猫 載

くまモン

(熊本県のキャラクター)

くまモンは、九州新幹線全線開業を前に2010年からスタートした「くまもとサプライズ」のPRキャラクターです。

「ゆるキャラ®グランプリ2011」において、28万7315票を獲得し優勝しました。"くまモン"自身はもとより、さまざまなくまモングッズが大人気です。

じーも

(門司区のキャラクター)

北九州市門司区の観光キャラクターとして1999年に誕生しました。門司の観光地やおいしいものをPRしています。

じーもは海の妖怪「海ぼうず」をモチーフにデザインされ、海ぼうずの末裔として門司区の人々に親しまれています。

好きな食べ物は、バナナ、焼きカレーなどで、最近はこちらにもはまっているそうです。



北九州市門司区マスコットキャラクター「じーも」®

まほろちゃん

(佐賀市のキャラクター)

1997年、佐賀市との合併前の旧大和町で生まれたキャラクターです。名前の由来は古事記にある「大和は国のまほろば」という言葉から。2009年3月には、佐賀市大和町の肥前国庁跡資料館の入場促進用に配られた「まほろちゃんのしおり」が話題となり、全国からファンが殺到しました。現在佐賀市公式HP内のキッズページなどで活躍しています。



佐世保バーガーボーイ&させぼのポコちゃん

(佐世保バーガーのキャラクター)

人々に愛される佐世保バーガーのイメージをさらにアップさせようと2003年に誕生しました。デザインはアンパンマンのやなせたかし先生が手掛けています。

2006年には女の子キャラクター「させぼのポコちゃん」も登場、2人で美味しいハンバーガーの文化を広げようと活躍中です。

「佐世保バーガーボーイ」、「させぼのポコちゃん」
／やなせたかし・SASEBO

ソフトビジネスが成長し、経済をリードする時代になりました。製造業はもとより、設備工事ビジネスとは対極にありますが、その動静には注目すべきものがあります。

そのなかでもいま注目は稼げるキャラクタービジネスとして大きな経済効果を生み出すご当地キャラ。日本国中で人気のある「くまモン」を筆頭に九州にはたくさんのご当地キャラが控えています。

そのすべてはご紹介できませんが、代表的なご当地キャラに集まってもらいました。



さくらじまん

(かごしまPRサポーター)

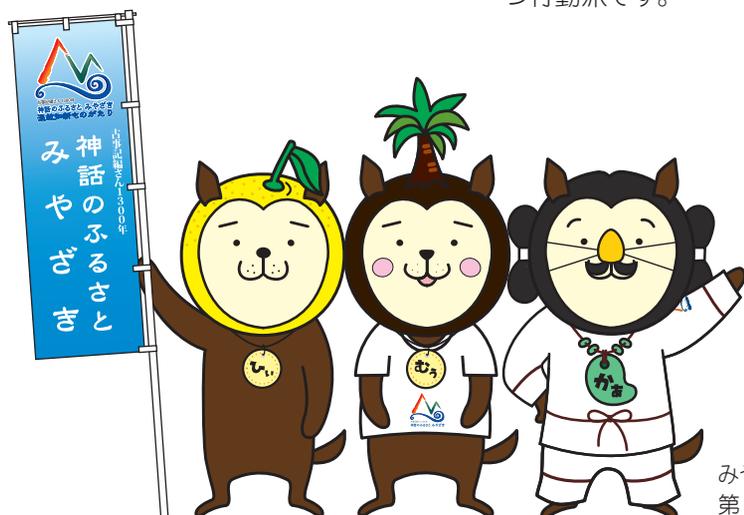
2008年に開催された第21回全国健康福祉祭かごしま大会(ねんりんピック鹿児島2008)のマスコットキャラクターです。ねんりんピック終了後、その人気の高さからかごしまPR課に配属となり、かごしまPRサポーターとして活躍しています。

太い眉毛と大きな瞳は、鹿児島県が生んだ偉人西郷隆盛をイメージしています。気はやさしくて好奇心旺盛、桜島をモチーフにしたその姿の通り、桜島のように内に秘めたるエネルギーを持つ行動派です。

ゆるキャラ[®]



©2010 熊本県くまモン



みやざき犬使用許可
第260037号

みやざき犬

(宮崎県シンボルキャラクター)

2011年に登場した宮崎県の新しいシンボル・キャラクターで、特産の日向夏(みかん)や地頭鶏のかぶり物を着けた犬のマスコットです。

宮崎県の旧称日向(ひむか)にちなみ「ひい」「むう」「かあ」の3匹のみやざき犬がいます。最初のお披露目には、奈良県の「せんとくん」や島根県の「しまねっこ」なども応援に駆け付けてくれました。

かぼたん

(大分かぼすのキャラクター)

大分の特産品カボスと大分県をPRするマスコットです。おなかのハートマークがチャームポイントで、カボスの匂になると「匂!」と自己申告します。

サンマまつりが大好きで「目黒のサンマまつり」や「けせんぬまさんまつり」にも参加します。焼魚にカボス汁をかけるとひと味違います。ビタミンCとクエン酸がたっぷり含まれているカボス果汁のジュースもオススメです。

